

1 単元名・教材名 「What do you have on Mondays? ～新本ドリームスケジュールを紹介しよう!～」

2 単元の目標

- 曜日、教科や職業の言い方について、たずねたり答えたりする言い方を理解することができる。また、小文字の形の特徴の違いに気付くことができる。 (知識・技能)
- ある職業になるための夢の時間割を紹介することができる。 (思考力・判断力・表現力)
- 他者に配慮しながら、ある職業に就くための時間割を紹介しようとする。(主体的に学習に取り組む態度)

3 関連する学習指導要領における領域別目標

聞くこと	イ 曜日や教科、身の回りのものや職業の表現、友達のお気に入りの時間割についての話を聞いて、理解することができる。
読むこと	ア 文字には「音読み」があることを理解し、活字体の小文字を識別したり、「名称読み」で発音したりすることができる。
話すこと 【やりとり】	イ 時間割について、伝え合うことができる。
話すこと 【発表】	イ ある職業に就くためのオリジナルの時間割を作り、理由とともに発表することができる。
書くこと	ア 活字体の小文字を、形に気を付けて書くことができる。

4 単元の評価規準 ※記録を残す評価

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	<知識>曜日や教科、職業を表す語句や、 What do you~? や I have~. などの表現について理解している。 <技能>時間割の内容について、曜日や教科、職業を表す語句や What do you~? や I have~. などの表現を聞き取る表現を身に付けている。	時間割の内容を理解するために、曜日や教科、職業について話されるのを聞いて、おおよその内容を捉えている。	時間割の内容を理解するために、曜日や教科、職業について、簡単な語句や基本的な表現を用いた対話や発表を聞くようとしている。
読むこと	<知識>活字体の小文字の形の違いや「音読み」について理解している。 <技能>活字体の小文字の違いを識別したり、その読み方を発音したりする技能を身に付けている。	文字には「音読み」があることに気付くとともに、文字の形の違いに気を付けながら小文字を発音している	活字体の小文字を識別し、名称読みで発音しようとしている。
話すこと 【やりとり】	<知識> 曜日や教科、身の回りのものや職業を表す語句や、 What do you ~? や I have~. などの表現について理解している。 <技能>時間割の内容について、曜日や教科、身の回りのものや職業を表す語句や、 What do you ~? や I have~. などを伝え合う技能を身に付けている。	夢の時間割を紹介するために、曜日や教科、身の回りのものや職業について、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合っている。	夢の時間割を紹介するために、曜日や教科、職業について、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝えようとしている。
書くこと	<知識>活字体の小文字の形の違いについて理解している。 <技能>活字体の小文字を形に気を付けて書く技能を身に付けている。	活字体の小文字を4線上に書いている。	活字体の小文字を4線上に形に気を付けて書こうとしている。

5 指導上の立場

(1) 単元観

本単元では、「新本ドリームスケジュールを紹介しよう」というゴールを設定し、そのために教科、職業、曜日を尋ねたり伝えたりする表現を学習していく。また、これまで慣れ親しんだ小文字の活字形を形に気を付けて4線の上に書く活動を帯活動として設定している。

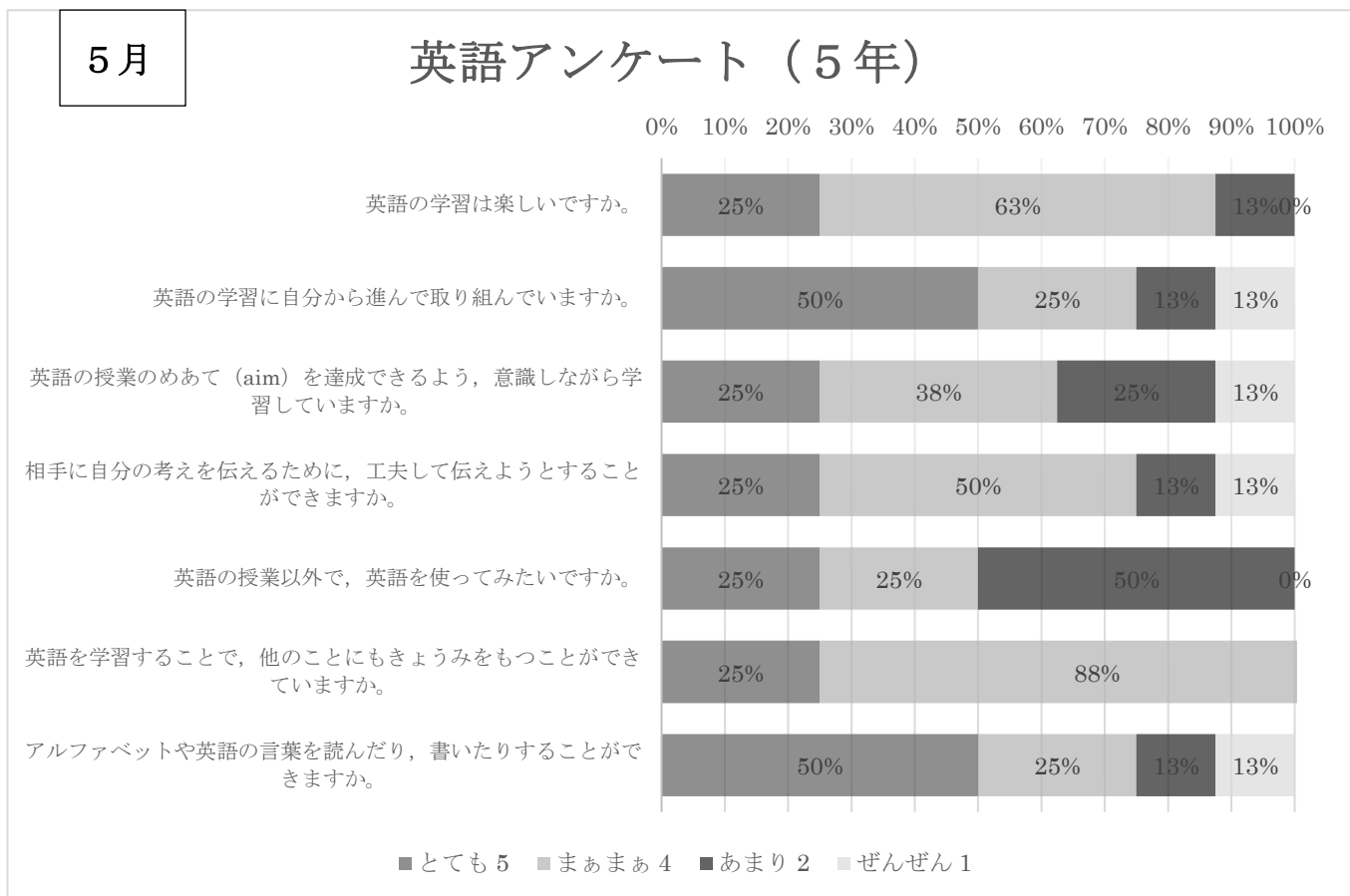
これまで児童は4年間の外国語活動や外国語科での学習を通して、自己紹介や英語でほしいものをやりとりするなど英語でコミュニケーションをする楽しさを少しずつ味わってきた。

そこで本単元では、児童にとって身近な学校生活の時間割を題材に学習を進める。世界の子どもたちがどのような学校生活を送っているのか、どのような科目を学習しているのかなど興味・関心を高め、時間割に必要な教科の英語表現に慣れ親しむことができるようにする。単元の終末には、自分の将来の夢に向けてのオリジナルの時間割を考えて、友達、6年生、教師に伝える活動を行うことで、英語で時間割を紹介するとともに、キャリア教育の一環として自分の将来の夢を考える一つのきっかけとなることを期待したい。

(2) 児童観（男子7名 女子2名 計9名）

5月に行った英語アンケートでは、「英語の学習は楽しいですか。」に対して、78%の児童が肯定的な回答をしている。おおむね英語の学習を楽しんで取り組んでいる様子が見られる。さらに、「英語を学習することで、他のことに興味をもつことができますか。」に対してほとんどの児童が肯定的に捉えている。しかし、「英語の授業以外で、英語を使ってみたいですか。」に対しては、50%の児童が否定的な回答をしていた。これら回答から、英語の学習をきっかけにものごとへの興味・関心の幅に広がりはあるものの、学習した英語を日常に生かすという点で課題があると考えられる。

そこで本単元では、将来の夢の職業に近づく時間割をつくるという課題を設定することで、英語学習をきっかけに自分の夢をより意識できるようにしていきたい。また、英語を日常に生かすという点では、夢の時間割を紹介する対象を学級の友達、6年生、先生と広げていくことを通して、できたという達成感を得ることで、日常生活でもっと英語を使ってみたいという意欲の向上を期待したい。



(3) 研究主題との関わり

本校の研究主題は「主体的に学びに向かい、思いや考えを伝え合う児童の育成～本物で必然性のある外国語活動・外国語科を通して～」であり、本校の考える仮説についての基本的な考え方は、次の2つである。

仮説

- 1 目的意識や相手意識・必然性を感じる課題設定を考えることで、児童が主体的に学びに向かい、様々な事柄への見方・考え方を広められるようにするだろう。（新本オリジナル）
- 2 児童に到達してほしい姿を示し、課題においてどのような姿を目指すのかを、児童と教師の双方が理解しながら活動することで、「学びに向かう力、人間性等」を高めることができるだろう。

1 について

本単元では、「新本ドリームスケジュールを紹介しよう」というゴールを設定することにより、児童が主体的に学び、書く活動に必然性をもって取り組むことができるのではないかと考える。本単元を通して、学級の友達、6年生、先生とオリジナル時間割を紹介する相手を段階的に広げていくようにする。対象を広げることで、他者を意識した紹介になるようにしていきたい。小文字を書く活動は、帯活動として行うことにする。4線上に小文字を書くことに慣れ親しんだ段階で、教科名を書く活動を取り入れ、必然性を高めていきたい。

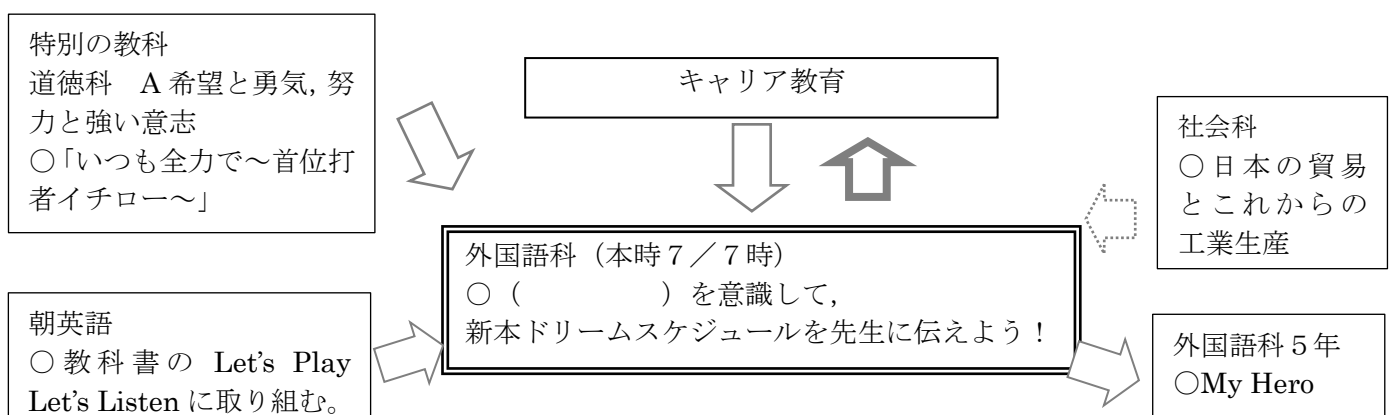
本時では、新本小の先生に自分が作った夢の時間割を紹介する活動を設定する。個人での発表の形式をとると、英語でのやりとりの必然性が生まれにくい。そのため、発表者は夢の時間割紹介の終末にどの職業に就くための時間割であるのか選択クイズを出すようにする。発表者の話す必然性だけでなく、聞く側にも聞く必然性を設けて、英語でのコミュニケーションの楽しさを味わうことで、児童が主体的に学びに向かうことができるのではないかと考える。

2 について

単元の初めに担任とALTのコミュニケーションのモデルをゴールとして示すことにする。単元を通して、何度も生のゴールモデルを示すことで、最初は聞き取ることに難しく感じた児童も学習が進むにつれて分かる喜びを感じたりすることで、もっとモデルに近づきたいという意欲をもったりすることができることで、学びに向かう力を高められるのではないかと考える。

また、自分のめあて(My Aim)の設定を毎時間行うこととする。このことは、全体のめあてを共有したのち、自分がめあてに何を取り組むのかどう頑張るのかをはっきりさせることで、より自分事として学習に向かうことができるのではないかと考える。

6 関連構想図



7 本時案 (7/7時)

(1)本時のねらい

- ・ 相手に配慮しながら、自分の夢の職業や時間割を伝えることができる。

(2)展開

学習活動	教師の指導・支援(●HRT, ■ALT,)	学習評価
<p>1 Greeting</p> <p>2 Warm up chants ALT Questions</p> <p>4 Small Talk</p>	<p>●■英語で挨拶をした後、気分や天気、曜日、日付、時刻などについて尋ねることで、日常的に使える英語表現に慣れ親しむことができるようにする。</p> <p>●■chants に取り組んだり、ALT からの質問のやりとりに答えたりすることで、英語を学習する雰囲気作りをすることができるようにする。</p> <p>●同じ内容で1回目はアイコンタクトなし・クリアーイスなし・リアクションなしで行い、2回目のよい例と比較し、どんな伝え方がよいか想起することで、本時のめあてにつなげることができるようにする。</p> <p>■What do you want to be?</p> <p>●(I want to be a) A icecream clerk, B flight attendant, C soccer player.</p> <p>■What do you have on Mondays?</p> <p>●I have Japanese, math, home economics and arts and craft.</p> <p>■Wow! What do you have on Wednesdays?</p> <p>●I have home economics, arts and crafts, period for integrated study and Japanese.</p> <p>■What subject do you like?</p> <p>●I like home economics.</p> <p>■Do you want to be an icecream shop clerk?</p> <p>●Yes, (I want to be an) ice cream shop clerk. Thank you.</p>	
<p>5 Aim</p>	<p>Aim () を意識して、新本ドリームスケジュールを先生に伝えよう。</p>	
<p>6 Activity</p> <p>・前半 (一人3分×2) 2人組で一人ずつ参観教師に伝える。</p> <p>・中間交流 (5分)</p>	<p>●My Aim として、本時で自分が意識したいことをワークシートに書くことで、主体的に学ぶ意欲を引き出すようにする。</p> <p>●一人が教師に夢の時間割や職業を伝えている間、もう一人がその様子を動画で撮影し、中間交流で伝えている様子を振り返ることで後半の活動に生かすことができるようにする。</p> <p>■表現に困っている児童には、教師が発音をやって見せることで、自信をもって活動に参加できるようにする。</p> <p>●しっかり反応をしている児童を称揚することで、意欲を高めることができるようにする。</p> <p>●PC で作った時間割や職業を活用することにより、視覚的に活動ができるようにする。</p> <p>●話し方のポイント・よかった表現について撮影した動画で確認することで、児童が次の活動で生かせるようにする。</p>	<p>◇夢の時間割や職業について伝えることができている。</p> <p><行動観察></p> <p>【思・判・表】 <input checked="" type="checkbox"/></p> <p>【主】 <input checked="" type="checkbox"/></p>

<p>・後半 (一人3分×2) 2人組で一人ずつ参観教師に伝える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●■ペアで改善点を考えた後全体で改善点を交流することで、自信をもって次の活動に移ることができるようにする。 ●■中間交流を踏まえて変化した姿を称賛する声掛けをすることで意欲的に活動できるようにする。 ●早く終わったペアは、他の先生とも交流を行い、英語でのコミュニケーションを味わうことができるようにする。 	
<p>7 Comment time</p> <p>8 Greeting</p>	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 夢の時間割を先生たちに英語で伝えることができてよかった。 ・ 前よりも教科や職業の英語表現をすらすら言えた。 ・ 先生たちの質問に英語で答えることができた。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ●自分のできるようになったことやペアになった人のよかったところなどを称揚することで、本時のめあての達成状況を確認することができるようにする。 ■やり取りの中で、よかったことや気になること、今後の英語の学習で気を付けたらよいところなどを伝え、今後の学習に生かすことができるようにする。 ●気持ちのよい挨拶をすることで、次時への意欲を高めることができるようにする。 	

(3) 板書計画

Goal	新本ドリームスケジュールを先生に伝えよう！
Aim	() を意識して、新本ドリームスケジュールを先生に伝えよう。
★Eye contact	★Gesture
★Clear voice	★Question
★Reaction	